

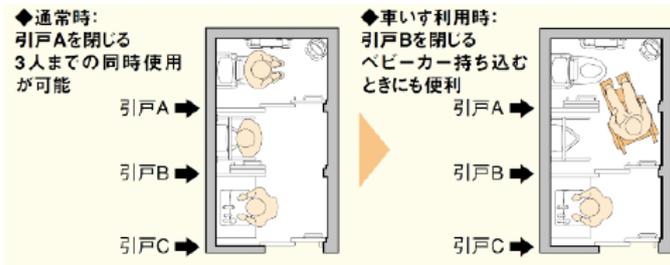
小規模な飲食店(男女別トイレ)

■スペース可変型トイレプラン

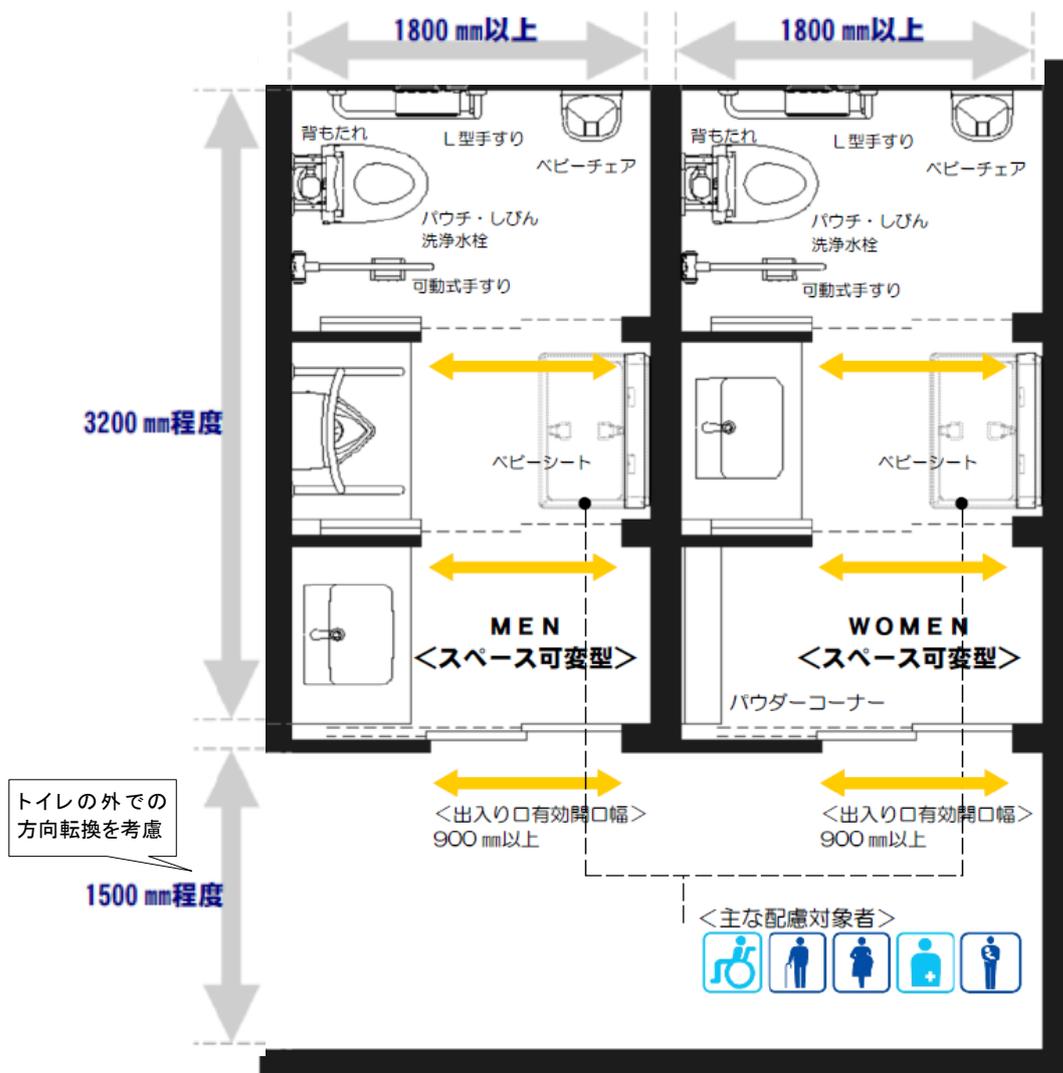
利用者に合わせてスペースが変えられる男女別の「スペース可変型トイレ」です。2カ所に設置した2連引き戸の使い分けにより、車いす利用者はじめベビーカーを引いた乳幼児連れの方の利用などさまざまな利用状況にフレキシブルに対応できるプランです。また、大便器にオストメイト配慮の水栓を設置しています。

《ポイント》

- ・トイレ内での車いすの方向転換は困難な場合が多いため、トイレの外に方向転換するスペース(通路幅1500mm程度)を確保します。
- ・利用例



- 【配慮する部分】 ①手すり・背もたれ ②壁面配置 ③オストメイト対応設備 ④洗面器コーナー ⑤棚・フック ⑥ベビーシート・ベビーチェア
⑨出入り口 ⑩その他



※主な配慮対象者について、下図のように表示しています。

(表示マークの色について)
紺色: ほとんどの方が使えるように配慮しています。
水色: 使えるように配慮していますが、状況により使いにくい場合もあります。

- 車いす使用者
- 高齢者およびつえ使用者
- 妊産婦
- オストメイト(人工肛門・人工ぼうこう保有者)
- 大型ベッド使用者
- 乳幼児連れ
- 子ども

※「福祉型トイレ」は施設の規模、用途、利用者意識などに配慮して整備することが重要であり、利用実態にあわせてプランの検討をお願いします。なお、この参考プランは小規模施設を想定しています。そのため、2000㎡以上の施設とは基準(福岡県福祉のまちづくり条例)が異なりますのでご注意ください。また、福祉型トイレの基準について福岡県ホームページに「福岡県福祉のまちづくり条例Q&A(建築物編)」に掲載していますのでご確認ください。